

# 総務政策常任委員会会議録

令和 7 年 4 月 25 日

場 所 第 2 委員会室



令和7年4月25日(金曜日)

午前10時0分開会

審査・調査事項

○総合政策及び行財政対策に関する調査

出席委員(8人)

|         |             |
|---------|-------------|
| 委 員 長   | 佐 藤 雅 洋     |
| 副 委 員 長 | 齊 藤 了 介     |
| 委 員     | 外 山 衛       |
| 委 員     | 後 藤 哲 朗     |
| 委 員     | 武 田 浩 一     |
| 委 員     | 山 内 い っ と く |
| 委 員     | 今 村 光 雄     |
| 委 員     | 松 本 哲 也     |

欠席委員(なし)

委員外議員(なし)

説明のため出席した者

総務部

|                              |           |
|------------------------------|-----------|
| 総 務 部 長                      | 田 中 克 尚   |
| 危機管理統括監                      | 津 田 君 彦   |
| 総 務 部 次 長<br>(総務・市町村担当)      | 那 須 隆 輝   |
| 総 務 部 次 長<br>(財 務 担 当)       | 児 玉 洋 一   |
| 危 機 管 理 局 長<br>兼 危 機 管 理 課 長 | 中 尾 慶 一 郎 |
| 総 務 課 長                      | 福 島 久 大   |
| 人 事 課 長                      | 伊 東 浩     |
| 行政改革推進室長                     | 宮 崎 智 美   |
| 財 政 課 長                      | 池 田 幸 優   |
| 財産総合管理課長                     | 廣 池 修 次   |
| 営 繕 課 長                      | 下 温 湯 盛 久 |
| 設 備 室 長                      | 原 田 徹     |

|             |         |
|-------------|---------|
| 税 務 課 長     | 鎌 田 正   |
| 市 町 村 課 長   | 池 北 斉   |
| 総務事務センター課長  | 後 藤 道 洋 |
| 消 防 保 安 課 長 | 羽 田 貴 一 |

総合政策部

|                            |           |
|----------------------------|-----------|
| 総 合 政 策 部 長                | 川 北 正 文   |
| 政 策 調 整 監                  | 大 東 収     |
| 県参事兼総合政策部次長<br>(政策推進担当)    | 佐 野 晃 浩   |
| 総 合 政 策 部 次 長<br>(県民生活担当)  | 長 友 修 一   |
| 総 合 政 策 課 長                | 中 村 智 洋   |
| 広 域 連 携 課 長                | 酒 匂 晋 也   |
| 秘 書 広 報 課 長                | 佐 藤 純 一 郎 |
| 広 報 戦 略 室 長                | 小 山 圭 一   |
| 統 計 調 査 課 長                | 芝 吹 政 明   |
| 総 合 交 通 課 長                | 松 田 隆     |
| 中山間・地域政策課長                 | 濱 川 哲 一   |
| 産 業 政 策 課 長                | 川 崎 智 子   |
| デジタル推進課長                   | 福 崎 寿     |
| 生 活 ・ 協 働 ・<br>男 女 参 画 課 長 | 森 山 紀 子   |
| 交通・地域安全対策監                 | 坂 元 敏 彦   |
| 女性活躍推進室長                   | 前 田 直 彦   |
| みやざき文化振興課長                 | 松 元 弘 樹   |
| 人権同和対策課長                   | 大 迫 義 彦   |

宮崎国スポ・障スポ局

|                             |         |
|-----------------------------|---------|
| 宮崎国スポ・障スポ局長                 | 山 下 栄 次 |
| 宮崎国スポ・障スポ局次長<br>(総括)兼総務企画課長 | 長 倉 正 朋 |
| 宮崎国スポ・障スポ局次長<br>(競 技 担 当)   | 若 林 繁 幸 |
| 競 技 ・ 式 典 課 長               | 橋 倉 篤 寿 |
| 施 設 調 整 課 長                 | 財 部 孝 志 |
| 障 ス ポ 大 会 課 長               | 駒 路 美 保 |

競技力向上推進課長 横山 美和

会計管理局

会計管理者兼会計管理局長 平山 文春  
会計管理局次長 坂下 利雄  
会計課長 中原 洋一  
物品管理調達課長 山台 直子

人事委員会事務局

事務局長 日高 正勝  
総務課長 寺原 佳史  
職員課長 児玉 憲彦

監査事務局

事務局長 坂元 修一  
監査第一課長 林 玲子  
監査第二課長 下村 昌彦

議会事務局

事務局長 川畑 敏彦  
事務局次長 久保 範通  
総務課長 徳松 一豊  
議事課長 菊池 博  
政策調査課長 西久保 耕史

事務局職員出席者

議事課主査 岩下 恵美  
政策調査課主査 藤原 諒也

○佐藤委員長 ただいまから総務政策常任委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

まず、委員席の決定についてであります。現在お座りの席のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤委員長 それでは、そのように決定いたします。

次に、本日の委員会の日程についてであります。

御覧の日程案のとおりでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤委員長 それでは、そのように決定いたします。

次に、委員会の運営方法についてであります。執行部入替えの際は、委員長会議確認事項のとおり、10分程度の休憩を設けることに御異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤委員長 それでは、そのように決定いたします。

執行部入室のため、暫時休憩いたします。

午前10時0分休憩

午前10時3分再開

○佐藤委員長 委員会を再開いたします。

先般の臨時会におきまして、私ども8名が総務政策常任委員会委員となったところでございます。私は、このたび委員長に選任されました西臼杵郡選出の佐藤雅洋でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

総務部の課題をしっかりと審議させていただきます。特に県の総合計画、さらには日本一プロジェクト、そして人口減少問題など多くの課題がございますが、副委員長そして委員の皆様とともに力を合わせて、執行部の皆様とともに前進するよう努力いたしますので、何とぞよろしくお願いいたします。

次に、委員の皆様を紹介いたします。

まず、私の隣が宮崎市選出の齋藤了介副委員長でございます。

次に、向かって左側ですが、延岡市選出の後藤哲朗委員でございます。

都城市選出の山内いっとく委員でございます。

日南市選出の外山衛委員でございます。

続きまして、向かって右側ですが、串間市選出の武田浩一委員でございます。

都城市選出の今村光雄委員でございます。

延岡市選出の松本哲也委員でございます。

次に、書記の紹介をいたします。

正書記の岩下主査でございます。

副書記の藤原主査でございます。

次に、部長の御挨拶、幹部職員の紹介並びに所管業務の概要説明等をお願いいたします。

**○田中総務部長** 年度当初の初めての委員会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げたいと思います。

まず、佐藤委員長におかれましては、委員の皆様を御紹介いただきましてありがとうございます。また、委員の皆様、今年度どうぞよろしくをお願いいたします。

委員長からも言及がありましたとおり、令和7年度は県総合計画アクションプランの折り返しの年になります。昨年度から本格展開をしております3つの日本一挑戦プロジェクトの着実な推進をはじめ、若者・女性を重視した人口減少対策の強化、さらには持続可能な未来に向けた基盤づくりに向け、引き続き様々な取組を実施していくこととしております。

総務部といたしましては、各部局の政策が円滑に進むようしっかりと下支えをしてまいりたいと考えております。

また、危機管理局におきましては、これまで以上に様々な危機事象への対応が必要となってきました。実際に県内外で災害が発生した場合には、その司令塔として、また調整役とし

て万全の対策を期してまいりたいと考えてございます。

総務部に求められております役割をしっかりと果たしていくため、職員一同全力で取り組んでまいりますので、佐藤委員長をはじめ委員の皆様方には、今後とも御指導と御支援のほどよろしくお願い申し上げます。

お手元の総務部の総務政策常任委員会資料、3ページからお願いしたいと思います。

総務部の幹部職員を掲載してございます。

ここで、出席しております課・室長級以上の職員並びに議会担当職員を御紹介させていただきます。

まず、危機管理統括監の津田でございます。

総務・市町村担当次長的那須でございます。

財務担当次長の児玉でございます。

危機管理局長兼危機管理課長の中尾でございます。

総務課長の福島でございます。

人事課長の伊東でございます。

行政改革推進室長の宮崎でございます。

財政課長の池田でございます。

財産総合管理課長の廣池でございます。

営繕課長の下温湯でございます。

設備室長の原田でございます。

税務課長の鎌田でございます。

市町村課長の池北でございます。

総務事務センター課長の後藤でございます。

消防保安課長の羽田でございます。

最後に、議会担当の総務課主幹の小野でございます。

紹介は以上でございます。

次に、総務部の所管業務の概要等について説明をいたします。

次の4ページをお願いいたします。

総務部の組織についてであります。

中ほどにあります営繕課設備室が今年度から総務部に加わっておりまして、本庁が10課2室、出先機関が各県税・総務事務所、自治学院、西臼杵支庁、防災救急航空センター、消防学校の11所属となっております。

次の5～7ページにかけましては、本庁及び出先機関の課、担当の構成について記載しておりますので、御参考にしていただきたいと思います。

続けて8～12ページにかけましては、各課の分掌事務について記載しております。これも併せて御参照いただければと存じます。

13ページが令和7年度の総務部の当初予算についてでございます。

太線で囲われた列がございますが、その最下段にありますように、一般会計と特別会計を合わせまして2,359億4,448万6,000円が総務部の予算額となっております。令和6年度の予算と比べますと103.5%となっております。

次の14ページを御覧ください。

令和7年度総務部当初予算の新規・重点事業を掲載してございます。

この中から2事業を御紹介いたしますが、下から3つ目、危機管理課の新規事業「南海トラフ巨大地震等被害想定更新事業」は県が令和2年3月に公表しております南海トラフ巨大地震等に係る宮崎県地震・津波被害想定について更新をいたしまして、その結果も基に、これまでの取組評価や今後の対策の検討を行うものでございます。

またその1つ下、消防保安課の新規事業「防災救急ヘリコプター受援体制整備事業」は本県において大規模災害が発生した場合に、他県からのヘリによる応援部隊の航空運用調整や救助

活動等が円滑に行えるよう、ヘリ運用調整の拠点となる「ヘリベース」と被災地近傍のヘリ活動拠点となる「フォワードベース」の機能強化を図るというものでございます。

○佐藤委員長 執行部の説明が終わりました。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤委員長 先ほどの挨拶で漏れておりましたけれども、危機管理、消防についても大変重要であります。しっかりやっていきます。

また、委員会として、必要とするときは知事、副知事の出席を求めますので、対応をよろしくお願いいたします。ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤委員長 それでは、以上をもちまして総務部を終了します。

暫時休憩いたします。

午前10時12分休憩

---

午前10時15分再開

○佐藤委員長 委員会を再開いたします。

先般の臨時会におきまして、私ども8名が総務政策常任委員会委員となったところでございます。私は、このたび委員長に選任されました西臼杵郡選出の佐藤雅洋でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

総合政策部の課題であります地方創生、さらには中山間地対策などしっかりと取り組んでいかせていただきますが、特に県立高校問題等は地域の創生には大変重要な課題であります。教育委員会にお任せするだけではなく、全体的に捉える必要があろうかと思っておりますので、そういうところも含めてぜひともお願いしたいと思っております。

齋藤副委員長そして委員の皆様とともに力を

合わせて、執行部の皆さんと力を合わせて前進させていきたいと思っております。

また、委員会に必要であれば、知事、副知事の御出席もいただいて、お声を聞かせていただくこともあらうかと思っておりますので、どうぞお計らいよろしくお願いします。

次に、委員の皆様を紹介いたします。

まず、私の隣が宮崎市選出の齋藤了介副委員長でございます。

次に、向かって左側ですが、延岡市選出の後藤哲朗委員でございます。

都城市選出の山内いっとく委員でございます。

日南市選出の外山衛委員でございます。

続きまして、向かって右側ですが、串間市選出の武田浩一委員でございます。

都城市選出の今村光雄委員でございます。

延岡市選出の松本哲也委員でございます。

次に、書記の紹介をいたします。

正書記の岩下主査でございます。

副書記の藤原主査でございます。

次に、部長の御挨拶、幹部職員の紹介並びに所管業務の概要説明等をお願いいたします。

**○川北総合政策部長** まず、御礼を申し上げます。3月28日に開催いたしましたメディキット県民文化センターリニューアルオープン記念式典におきましては、県議会から多数御出席をいただき誠にありがとうございました。

4月20日からは、第30回宮崎国際音楽祭がスタートしたところでありますが、今後とも県民の文化芸術活動の拠点として、多くの皆様に親しまれ、利用していただける劇場を目指してまいります。

さて、総合政策部は経済・雇用対策、地方創生、総合交通網や物流、中山間地対策、多様な主体による協働の推進、県政情報の効果的な発

信など、幅広い分野で県民生活と密接につながる業務を所管いたしております。

今年度においても、本県の強みを生かしながら、日本一挑戦プロジェクト等を着実に推進し、新たな成長に向けて取り組んでまいります。

引き続き、直面する課題の解決に向け、職員一丸となって取り組んでまいりますので、委員の皆様の御指導、御支援をどうぞよろしくお願いいたします。

お手元の委員会資料の3ページをお願いいたします。

総合政策部の幹部職員を紹介させていただきます。

政策調整監の大東収です。

政策推進担当次長の佐野晃浩です。

県民生活担当次長の長友修一です。

総合政策課長の中村智洋です。

広域連携課長の酒匂晋也です。

秘書広報課長の佐藤純一郎です。

広報戦略室長の小山圭一です。

統計調査課長の芝吹政明です。

総合交通課長の松田隆です。

中山間・地域政策課長の濱川哲一です。

産業政策課長の川崎智子です。

デジタル推進課長の福崎寿です。

生活・協働・男女参画課長の森山紀子です。

交通・地域安全対策監の坂元敏彦です。

女性活躍推進室長の前田直彦です。

みやざき文化振興課長の松元弘樹です。

人権同和対策課長の大迫義彦です。

最後に、議会担当の総合政策課主幹の渡邊祥一郎です。

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、資料2ページ目の目次をお願いいたします。

本日は目次のⅡ～Ⅳにありますように、総合政策部の組織、分掌事務、当初予算について御説明いたします。

委員会資料の4ページを御覧ください。

総合政策部の組織一覧表を掲載しております。

総合政策部は本庁11課2室、出先4機関で構成しておりますが、下線部が昨年度からの主な変更点でございます。

1つ目は、若者・女性が県内で活躍し、理想のライフスタイルを実現できる社会環境づくりを進めるためには、魅力ある雇用の創出や柔軟で多様な働き方の推進など、経済界に協力を強く働きかけるとともに、市町村、関係団体等と連携して男女共同参画の理念に基づいた取組を進める必要がありますことから、生活・協働・男女参画課に「女性活躍推進室」を設置するものです。

2つ目は、産業政策課において、フードビジネス振興に関する業務を商工観光労働部に移管するとともに、外国人材施策の全庁的な取組を推進するため、これまでの2担当を「産業企画・外国人材担当」に再編をするものです。

3つ目は、大阪事務所において、効果的・効率的な業務の執行を図るため、これまでの3担当から2担当に再編するものです。

次に、5～9ページにかけましては、各課の所管業務を記載しておりますが、こちらにつきましては後ほど御覧いただければと考えております。

次に、10ページを御覧ください。

令和7年度の総合政策部、当初予算についてでございます。

表の上の段にあります一般会計の右下、合計の欄にありますとおり174億5,240万円で、令和6年度の当初予算額と比較しまして、日本一挑

戦プロジェクト推進基金の積立金の減や、県立芸術劇場大規模改修の大部分が終了したことなどにより32億1,444万7,000円の減、率にしますと84.4%であります。

また、ページ左下にあります宮崎県開発事業特別資金特別会計の当初予算は、下の段の左側の表になりますが2,108万円となり、令和6年度当初予算額から104万7,000円の増であります。

この結果、一般会計と特別会計を合わせました総合政策部の令和7年度当初予算額の合計は、右下の合計の欄にありますとおり174億7,348万円であります。

11ページを御覧ください。

令和7年度の総合政策部に関する主な新規・改善・重点事業を整理したものでありますが、その主なものを紹介いたします。

まず、上から4つ目、総合交通課の新規事業「新幹線整備機運醸成事業」は新幹線整備の実現に向け、新幹線開業に伴う経済効果の算定や県民の関心を高めるための講演会等の開催により、県全体で一丸となった推進運動を展開するものであります。

次に12ページの下から4つ目、中山間・地域政策課の新規事業「若者U I Jターン促進事業」は、従来の移住支援金の対象とならない都市部在住1年以上の若者を対象とした新たな給付金を創設することにより、若者の県内移住を促進するとともに、地域の担い手を確保するものであります。

次に13ページの上から3つ目、産業政策課の新規事業「外国人材定着促進支援事業」は、県内で働く外国人材の定着促進を図るため、企業や外国人材向けの労働相談窓口を設置するとともに、企業に対する併走支援や定着促進に資する取組に対する経費補助を行うものであります。

次にその2つ下、新規事業「産業DXトータルサポート事業」は、県内産業のDX促進を図るため産業デジタル化の相談窓口を設置するとともに、DX戦略策定等の支援やシステム導入に係る補助を行うものであります。

次に下から3つ目、デジタル推進課の改善事業「生成AI活用による業務効率化支援事業」は、県庁内に内部データを扱う生成AIシステムを導入し、会計事務等の庁内の問合せに自動応答するチャットボット等を構築することで、業務の効率化や生産性の向上を図るものであります。

次に、14ページの上から9つ目、生活・協働・男女参画課の新規事業「災害ボランティア支援体制整備事業」は、災害に備えた行政、社会福祉協議会、NPO等の多様な連携促進のため災害ボランティアの理解促進を図るとともに、市町村や災害中間支援組織に対して、災害ボランティア支援体制の構築に対する経費を助成するものです。

次にその2つ下、女性活躍推進室の新規事業「女性にやさしい職場づくり応援事業」は、女性が個性と能力を十分に発揮しつつ、仕事と家庭の調和が取れる宮崎づくりを推進していくため、女性の積極採用や管理職登用、多様な働き方などの女性活躍を推進する取組や、女性が働きやすい職場環境の整備等に取り組む企業に対し、取組内容に応じた奨励金、補助金を交付するものです。

次にその2つ下、みやざき文化振興課の新規事業「第30回宮崎国際音楽祭・県立芸術劇場開館30周年記念事業」は、県立芸術劇場が開館30周年、宮崎国際音楽祭も第30回を迎えることを記念し、これまでの成果を広く発信するとともに、県内各地で様々な世代が文化に親しんでい

ただけるよう、記念公演や関連企画の実施、記念誌の作成等を行うものです。

次にその1つ下、新規事業「第30回若山牧水賞記念事業」は、30回の節目を迎える若山牧水賞と牧水生誕140周年を祝う記念事業としまして、短歌日記帳の作成・配布や、SNS等を活用したキャンペーン、記念イベント等を実施するものであります。

○佐藤委員長 執行部の説明が終わりました。委員の皆様から質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤委員長 それでは、以上をもちまして総合政策部を終わります。

暫時休憩いたします。

午前10時30分休憩

---

午前10時33分再開

○佐藤委員長 委員会を再開いたします。

先般の臨時会におきまして、私ども8名が総務政策常任委員会の委員となったところでございます。私は、このたび委員長に選任されました西臼杵郡選出の佐藤雅洋でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

宮崎国スポ・障スポ局の皆さんにおかれましては、日本のひなた宮崎国スポ・障スポの開催準備等大変かと思っております。2年後の大会が成功するよう、委員会としてもしっかりと後押ししていきたいと思っております。

また、天皇も来県されますし、天皇杯獲得が最大の目標であろうと思っております。大変かと思いますが頑張ってくださいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

次に、委員の皆様を紹介いたします。

まず、私の隣が宮崎市選出の齋藤了介副委員長でございます。

次に、向かって左側ですが、延岡市選出の後藤哲朗委員でございます。

都城市選出の山内いっとく委員でございます。

日南市選出の外山衛委員でございます。

続きまして、向かって右側ですが、串間市選出の武田浩一委員でございます。

都城市選出の今村光雄委員でございます。

延岡市選出の松本哲也委員でございます。

次に、書記の紹介をいたします。

正書記の岩下主査でございます。

副書記の藤原主査でございます。

次に、局長の御挨拶、幹部職員の紹介並びに所管業務の概要説明等をお願いいたします。

**○山下宮崎国スポ・障スポ局長** 委員の皆様におかれましては、日頃から2027年の日本のひなた宮崎国スポ・障スポの開催準備に当たりまして、御理解と御協力を賜り深く感謝申し上げます。

説明に入ります前に1点、御礼を申し上げます。

先日行われましたパーソルアクアパーク宮崎完成式典及び霧島酒造スポーツランド都城オープニングセレモニーにつきましては、御多忙の中、県議会からも濱砂前議長をはじめ多くの議員の皆様にご出席を賜りました。誠にありがとうございました。

当局所管としましては、今年度は、延岡市のアスリートタウン延岡アリーナのメインアリーナ、それから宮崎市のひなた宮崎県総合運動公園庭球場のハードコートが完成する予定ですが、そのほか今年度、局としましては主に小中学校を対象としたイメージソングダンスの出前授業、あるいは高等学校、企業、市町村のイベント等への大会PRキャラバンの派遣、また花いっぱい運動の花リレー、ボランティアの

募集などを開始してまいりまして、県内の機運醸成を加速させてまいりたいと考えております。

また、後ほども御説明いたしますが、大会開催に向けた準備体制をより強化するため、今年4月から「競技担当次長」の職を設置しましたほか、「障スポ大会課」を新設したところでございます。

引き続き2年後の大会の成功、天皇杯獲得に向けまして職員一丸となって取り組んでまいりますので、委員の皆様の御指導、御支援を賜りますようお願いいたします。

それでは、御報告いたします項目について説明いたします。

委員会資料の3ページを御覧ください。

幹部職員を紹介させていただきます。

宮崎国スポ・障スポ局次長、総括兼総務企画課長の長倉正朋です。

宮崎国スポ・障スポ局次長、競技担当の若林繁幸です。

競技・式典課長の橋倉篤寿です。

施設調整課長の財部孝志です。

障スポ大会課長の駒路美保です。

競技力向上推進課長の横山美和です。

最後に、議会担当の総務企画課主幹の村田天秀です。

よろしくお願いいたします。

それでは、資料の2ページにお戻りください。

本日は、目次のⅡ～Ⅳにありますとおり、当局の組織、分掌事務、当初予算について御説明いたします。

委員会資料の4ページを御覧ください。

組織一覧表を掲載しております。先ほど申しましたとおり、今年4月1日付の組織改正により、宮崎国スポでの天皇杯獲得に向けまして、競技力向上の取組を計画的かつ集中的に強化す

ることなどを目的とし、次長（競技担当）の職を設置いたしました。

また、同じく本県で開催します「第26回全国障害者スポーツ大会」に向けまして、体制をさらに強化するため「障スポ大会課」を設置いたしました。このほか、「総務企画課」及び「競技・式典課」の担当を再編し、2年後の大会に向けましてより効率的・効果的に開催準備を進めることとしております。また、職員数につきましても、昨年度は局全体で63人でしたが、今年度は86人と増員させて、準備体制を強化しているところでございます。

5ページには各課の分掌事務を掲載しておりますので、後ほど御覧いただければと考えております。

続きまして、6ページを御覧ください。

令和7年度の宮崎国スポ・障スポ局当初予算についてです。

表の左から2列目の令和7年度当初予算額の合計の欄に記載しておりますとおり、今年度の局の当初予算は116億2,224万円でありまして、右側の令和6年度当初予算額と比較しまして92億2,296万6,000円の減、率にしますと55.8%となります。

続きまして、7ページを御覧ください。

令和7年度の新規・重点事業を整理したものです。

主なものですが、まず1つ目の「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ開催準備事業」では、国スポ・障スポの本県開催に向けまして、宮崎県実行委員会の総会等の運営をはじめ、競技団体が行う競技役員養成に対する支援や、各種広報活動等の開催準備を行うものです。

その下、施設調整課の「県有スポーツ施設整備事業」は、国スポ・障スポに向けた県主要施

設の整備等を行うものです。KUROKIRI STADIUM及びパーソルアクアパーク宮崎につきましては、昨年12月に完成しておりますので、残るアスリートタウン延岡アリーナ及び庭球場について、本年度完成に向けて建設工事に引き続き取り組んでまいります。

その下、競技力向上推進課の新規事業「国スポ・障スポ大会選手団ユニフォーム整備事業」は、新たに制作しましたユニフォームの購入費を補助するとともに、新ユニフォームを着用した県代表選手の活躍等を通しまして、日本のひなた宮崎国スポ・障スポの開催PR及び大会に向けた県全体の気運醸成を図ることとしております。

その下の改善事業「宮崎国スポ強化戦略プロジェクト」は、競技団体が実施します競技力向上に向けた取組を支援することによりまして、本県の競技力の底上げを図り、宮崎国スポでの天皇杯獲得を目指すものです。

4つ下になりますが、改善事業「社会人アスリート等確保事業」は、宮崎国スポでの活躍を目指すアスリート等と県内企業等との雇用マッチング会等を実施するとともに、アスリート等が就労しながら競技を継続できる環境を整えることにより、本県競技力の向上・維持を図るものです。

○佐藤委員長 執行部の説明が終わりました。委員の皆様からの質疑はございませんか。

○松本委員 アスリートタウン延岡アリーナのことをお尋ねいたします。

工法が変更されて、順調にスピード感を持って進んでいるので、体育館の完成が待ち遠しいと思いながらみております。工法変更後は、当初のスケジュールから見た感じでは非常に早いような気もいたしますが、完成までのスケジ

ジュール等について改めてもう一度御説明いただけないでしょうか。

**○財部施設調整課長** 当初、今年の12月に完成予定であったものが、昨年この工法の変更等も含めてスケジュールが変更になりまして、今年度いっぱい完成ということで御説明をさしあげたところですが、今のところ予定どおり、今年度中の完成ということで順調に進んでいるところでございます。

**○松本委員** 非常に楽しみです。延岡の皆さんには、県体育館の完成は県民の皆様に応えないといけないということも感じておりますので、今後ともいろいろな面で完成に当たって御尽力いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

**○佐藤委員長** ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**○佐藤委員長** それでは、以上をもちまして宮崎国スポ・障スポ局を終わります。

暫時休憩いたします。

午前10時44分休憩

---

午前10時47分再開

**○佐藤委員長** 委員会を再開いたします。

先般の臨時会におきまして、私ども8名が総務政策常任委員会委員となったところでございます。私は、このたび委員長に選任されました西臼杵郡選出の佐藤雅洋でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

皆様方の局は、大変重要なところでございます。副委員長、そして委員の皆様とともにしっかりと議論をさせていただきながら、宮崎県の前進のために頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

次に、委員の皆様を紹介いたします。

まず、私の隣が宮崎市選出の齊藤了介副委員長でございます。

次に、向かって左側です。延岡市選出の後藤哲朗委員でございます。

都城市選出の山内いっとく委員でございます。

日南市選出の外山衛委員でございます。

向かって右側ですが、串間市選出の武田浩一委員でございます。

都城市選出の今村光雄委員でございます。

延岡市選出の松本哲也委員でございます。

次に、書記の紹介をいたします。

正書記の岩下主査でございます。

副書記の藤原主査でございます。

それでは、会計管理者に、幹部職員の紹介並びに所管業務の概要説明等をお願いいたします。

**○平山会計管理者** 会計管理局におきましては、地方自治法の規定に基づきまして、会計管理者の権限に属する事務を処理しております。適正な会計事務及び物品管理調達事務を行うことで、各部局の取り組む事業の円滑な遂行を支えてまいりたいと考えておりますので、佐藤委員長をはじめ、委員の皆様の御指導をよろしくお願い申し上げます。

お手元の総務政策常任委員会資料の3ページを御覧ください。

初めに、幹部職員を紹介させていただきます。

会計管理局次長の坂下利雄でございます。

会計課長の中原洋一でございます。

物品管理調達課長の山台直子でございます。

次に、資料の4ページを御覧ください。

会計管理局の組織及び業務概要についてであります。

会計管理局は会計課と物品管理調達課の2課体制となっております。

会計課においては、総務・国費担当以下6つ

の担当、物品管理調達課におきましては3つの担当を置いております。

それぞれの担当業務の内容につきましては、担当名の右側に記載しているとおりであり、会計課においては、現金の支払い及び収納や支出命令書等の審査、本庁、出先機関職員の会計事務支援など、物品管理調達課においては、物品の管理、使用状況等の指導・検査や、本庁及び宮崎地区を含む県内7地区の物品の調達などの業務を行っております。

5ページを御覧ください。

令和7年度の予算の概要についてであります。

(1) 当初予算額は、表の一番上、令和7年度当初予算額の欄にありますとおり、8億7,679万4,000円となっております。

その主なものにつきましては、(2) 予算の概要に記載のとおり、上の表の会計管理費につきましては、財務会計システム運営管理費など、下の表の財産管理費につきましては、物品調達システム運営費などであります。

○佐藤委員長 執行部の説明が終わりました。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤委員長 それでは次に、人事委員会事務局長に、幹部職員の紹介並びに所管業務の概要説明等をお願いいたします。

○日高人事委員会事務局長 人事委員会は委員3名で構成され、地方自治法、地方公務員法に基づいて専門・中立的な立場で人事行政に係る業務を執行しております。

事務局といたしましては、その委員会が十分に機能を発揮できるよう努めてまいりたいと思いますので、佐藤委員長をはじめ、委員の皆様のお指導をよろしくお願いいたします。

常任委員会資料の3ページをお願いいたします

す。

人事委員会事務局の幹部職員を紹介させていただきます。

総務課長の寺原佳史でございます。

職員課長の児玉憲彦でございます。

次に、4ページを御覧ください。

人事委員会事務局の組織であります。総務課に総務担当と任用担当、職員課に給与担当と審査担当が置かれており、職員数は事務局長以下15名でございます。

5ページを御覧ください。

事務局の各担当ごとの分掌事務でございますが、主なものといたしまして、総務課の任用担当においては、職員の競争試験や職員の選考に関すること。職員課の給与担当においては、給与に関する報告及び勧告に関すること。審査担当においては、職員の不利益処分についての審査請求の審査に関することなどでございます。

次に、6ページを御覧ください。

令和7年度の当初予算の概要であります。当初予算額は1億6,505万4,000円で、内訳としまして、委員会費656万円が人事委員3名の報酬と、人事委員会の開催や活動に要する経費でございます。

また、事務局費1億5,849万4,000円が、事務局職員の人件費のほか、県職員採用試験の実施に要する経費、給与勧告等における調査研究に要する経費などとなっております。

お手元には、県職員採用のパンフレット及び今週22日から受付を開始しました大学卒業程度の職員採用試験案内をお配りしておりますので、後ほど御覧いただければと存じます。

○佐藤委員長 執行部の説明が終わりました。委員の皆様から質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤委員長 それでは、以上をもちまして、  
会計管理局及び人事委員会事務局を終わります。  
暫時休憩いたします。

午前10時55休憩

---

午前10時57分再開

○佐藤委員長 委員会を再開いたします。

先般の臨時会におきまして、私ども8名が総務政策常任委員会の委員となったところでございます。私は、このたび委員長に選任されました西臼杵郡選出の佐藤雅洋でございます。

皆様方とは大変近い関係でのお付き合いになるかと思っておりますけれども、いろいろとまだ未熟でありますので、御指導をいただきながら、副委員長、委員の皆様としっかりと宮崎県政前進のために進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

次に、委員を紹介いたします。

まず、私の隣が宮崎市選出の齊藤了介副委員長でございます。

次に、向かって左側ですが、延岡市選出の後藤哲朗委員でございます。

都城市選出の山内いっとく委員でございます。

日南市選出の外山衛委員でございます。

続きまして、向かって右側ですが、串間市選出の武田浩一委員でございます。

都城市選出の今村光雄委員でございます。

延岡市選出の松本哲也委員でございます。

次に、書記の紹介をいたします。

正書記の岩下主査でございます。

副書記の藤原主査でございます。

それではまず、監査事務局長に、幹部職員の紹介並びに所管業務の概要説明等をお願いいたします。

○坂元監査事務局長 監査事務局におきまして

は、4人の監査員による監査が円滑に行われますよう努めてまいりますので、佐藤委員長をはじめ、委員の皆様には御指導をよろしくお願いいたします。

最初に、事務局職員を紹介させていただきます。

委員会資料の3ページをお開きください。

(2)の監査事務局役付職員であります、私の左隣が、監査第一課長の林玲子でございます。

さらに、その左隣が監査第二課長の下村昌彦でございます。

次に、監査委員につきましては、資料の同じページになりますけれども、(1)に記載しておりますとおり、識見を有する者から選任された川野美奈子監査委員と木下博義監査委員、議員のうちから選任されました野崎幸士監査委員と坂本康郎監査委員でございます。

なお、代表監査委員には川野美奈子監査委員が選任されております。

次に、資料の4ページをお開きください。

監査委員の補助機関であります監査事務局の組織と分掌事務でございます。事務局は、2課5班体制で、職員は20名となっております。

右の表にありますとおり、監査第一課では、監査のほか、普通会計の決算審査、財政健全化審査等に関することを所管しております。

また、監査第二課では、監査のほか、公営企業会計の決算審査及び経営健全化審査等に関することを所管しております。

次に、5ページを御覧ください。

当事務局の予算の状況でございます。

令和7年度当初予算額は、1番上の段の(款)総務費として、総額で1億8,871万8,000円となっております。

このうち、上の段の（項）総務管理費は、外部監査の実施に要する経費でございます。

また、下の段の（項）監査委員費は、監査委員及び事務局職員の人件費及び運営費であります。

最後に、6ページをお開きください。

今年度の監査等実施計画でございます。

先ほど御説明いたしました4名の監査委員によりまして、地方自治法等に基づき、御覧のような監査等を実施することとしております。

○佐藤委員長 執行部の説明が終わりました。委員の皆様からの質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤委員長 それでは次に、議会事務局長に幹部職員の紹介並びに所管業務の概要説明等をお願いいたします。

○川畑議会事務局長 県議会事務局におきましては、4月1日の人事異動によりまして、新たに11名の職員が事務局にまいりました。

新体制におきましても、県議会の円滑な運営のため、職員一同、外山議長をはじめ議員の皆様をお支えし、しっかりと業務に当たってまいります。佐藤委員長をはじめ委員の皆様方には、御指導のほどよろしくお願いいたします。

まず、幹部職員を紹介いたします。

私の隣から、事務局次長の久保範通でございます。

総務課長の徳松一豊でございます。

議事課長の菊池博でございます。

政策調査課長の西久保耕史でございます。

以上、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、お手元の委員会資料により、事務局組織と事業概要等につきまして、説明いたします。

3ページを御覧ください。

県議会事務局の組織であります。局長、次長の下、総務課、議事課、政策調査課の3課6担当で、31名の職員体制となっております。

また、次の4ページには事務局職員の名簿、5ページには各課の主な事務分掌を記載しておりますので、後ほど御覧いただければと存じます。

続きまして、6ページを御覧ください。

5、予算の状況であります。令和7年度当初予算の概要を御説明いたします。

まず、（1）歳入であります。

表の左から2列目、下から2段目にありますとおり、県債の額は議場照明のLED化工事に伴い、前年度に比べ増加しております。

歳入の合計は、一番下にありますとおり3,538万2,000円となっております。

次に、（2）歳出であります。

右側の表の左から2列目にありますとおり、議会費が7億5,501万3,000円、事務局費が4億2,963万6,000円であり、歳出の合計は11億8,464万9,000円で、前年度と比較しまして0.3%の減となっております。

続きまして、7ページを御覧ください。

6、歳出予算の主な内容であります。

まず、（1）の議会費であります。主なものは議員報酬、本会議や各委員会の運営、各負担金及び政務活動費交付金に要する経費などあります。

続いて、8ページを御覧ください。

（2）事務局費であります。

主に、事務局職員の人件費や議会広報、事務局の運営に要する経費であります。なお、今年度はこれらに加え、表の下から3段目と4段目に記載しておりますとおり、先ほど触れました議場照明のLED化や議会史編さんに係る経費

を計上しております。

○佐藤委員長 執行部の説明が終わりました。  
質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤委員長 以上をもちまして、監査事務局  
及び議会事務局を終わります。

暫時休憩いたします。

午前11時07分休憩

---

午前11時08分再開

○佐藤委員長 委員会を再開いたします。

ここで4月17日に行われました委員長会議の  
内容について、御報告いたします。

委員長会議において、お手元に配付の委員長  
会議確認事項のとおり、委員会運営に当たって  
の留意事項等を確認いたしました。

時間の都合もありますので、主な事項につい  
てのみ御説明いたします。

まず、タブレット資料3ページをお開きくだ  
さい。紙資料は1ページになります。

(5)の閉会中の常任委員会についてであり  
ます。

定例会と定例会の間に原則として1回以上開  
催し、また、必要がある場合には、適宜、委員  
会を開催するという内容であります。

次のページをお開きください。

(7)の執行部への資料要求につきましては、  
委員から要求があった場合、委員長が委員会に  
諮った後、委員長から要求するという内容です。

(8)常任委員長報告の修正申入れ及び署名  
についてであります。

本会議で報告する委員長報告について、委員  
会でその内容を委員長一任と決定した場合、各  
委員が修正等の申入れを行う場合は、委員長へ  
直接行うこと。報告の署名は、委員長のみが行

うこととするものであります。

(9)のマスコミ取材につきましては、取材  
は原則として採決等委員協議を含めて記者席で  
行わせるという内容でありまして、委員会は採  
決等も含め、原則公開となっております。

次のページをお開きください。

(12)の調査等につきましては、ア、県内調  
査、イ、県外調査、ウ、国等への陳情と分かれ  
ております。

アの県内調査についてであります、4点ご  
ざいます。

1点目は、県民との意見交換を活発に行うた  
め、常任委員会の県内調査において、県民との  
意見交換を積極的に行うというものです。

2点目は、調査中の陳情・要望等については、  
委員会は内部審査機関であり、対外的な権限を  
持つものではないため、後日回答するなどの約  
束はしないというものであります。

3点目は、委員会による調査でありますので、  
単独行動による発着は、できる限り避けるとい  
うものであります。

4点目であります、調査先は、原則として  
県内の状況把握を目的に選定されるものですが、  
県内での調査先の選定が困難であり、かつ、県  
政の重要課題に関して特に必要がある場合には、  
日程及び予算の範囲内で隣県を調査できるとい  
うものであります。

次のページをお開きください。

(15)の委員会におけるパソコン等の使用に  
ついてですが、詳細は、タブレット資料12ペー  
ジ、紙資料10ページにありますので、後ほど御  
確認ください。

(16)のオンライン委員会の運営についてで  
すが、詳細はタブレット資料13～16ページ、紙  
資料11～14ページにありますので、後ほど御確

認ください。

その他の事項につきましても、目を通していただきたいと思います。

皆様には、確認事項などに基づき、委員会の運営が円滑に進むよう御協力をお願いいたします。

確認事項等について、何か御意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤委員長 それでは、次に、今年度の委員会調査など活動計画案について、次のページのとおりであります。活動計画案にありますとおり、県内調査を5月に、県外調査を10月に実施する予定であります。

初めに、県内調査についてであります。県北調査、県南調査、それぞれの行程案を事前に作成しましたので、ページを進めて御覧いただきたいと思います。

加えて、お手元に資料として、過去5年分の総務政策常任委員会の調査実施状況と県内調査、調査先候補の概要も配付いたしておりますので、併せて御覧ください。

県内調査につきまして、何か御意見、御要望等はございませんか。

暫時休憩いたします。

午前11時12分休憩

---

午前11時17分再開

○佐藤委員長 委員会を再開いたします。

次に、10月に予定されております県外調査につきまして、御意見、御要望等がありましたら、この場でお伺いしたいと思います。

暫時休憩いたします。

午前11時17分休憩

---

午前11時18分再開

○佐藤委員長 委員会を再開いたします。

それでは、県内調査の日程、調査先等につきましては、あとは正副委員長に御一任いただくことで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤委員長 ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

また、県外調査につきましては、6月定例会にて改めて御意見をお聞きますので、よろしくお願いいたします。

その他、何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤委員長 ほかに何もないようでしたら、本日の委員会を終了したいと思います。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤委員長 それでは、以上をもちまして、本日の委員会を終わります。

午前11時18分閉会



署 名

総務政策常任委員会委員長 佐 藤 雅 洋

